



## 処理を考える (18)

### 漢字を特定させることが目的ではない

最近、利用者から『漢字の補足が入っていて大変わかりやすい。』と感謝の言葉が寄せられて喜んでいますが、一方『せっかく漢字の補足があるけど最近漢字を忘れてしまって・・・』といった声も寄せられています。

漢字の処理の原則は、漢字を知っている中途失明者のために補足するのではなく、漢字を知らない視覚障害者が聞いて分かるような補足をすることにしています。『漢字を忘れてしまって補足されても通じない』といったことであれば処理の方法にも問題があるかもしれませんので、再度、「漢字の補足」を考えてみました。

中途失明者が漢字を忘れてしまっているので、補足を聞いても意味が分からないとしたら、漢字を知らない利用者にはもっと分かりにくいことになるでしょう。

漢字を補足する場合、その補足の仕方はさまざまにありますが補足することで内容がわかるようにすることが必要です。補足に使用する熟語が説明しようとする言葉とかけ離れた意味のものであれば、漢字をしらない人がきいた場合、補足した熟語の意味にとられて混乱させてしまいます。

例えば、造語で <「育兒」は「育自」である。>

の后者の「育自」を補足するのに「ジハジドウシャノジ」とやっては、「自動車」がなにか関係あるのかと誤解されます。つまり、「ジトウシャノジ」が「ジブンノジ」と同じであることが分からない人が聞いたら、聞き手には「ジドウシャ」という意味が補足されたと考えるからです。

熟語を使用して補足する場合、もとの字と同じ意味で使われていることを確認してしないと混乱させる原因になります。私たちは漢字を見ているので、とにかくその漢字が含まれている熟語があればそれを安易に使用してしまいがちですが、その熟語



を使うことで正しく伝わるかを考えることが大切です。私たちは、漢字を特定できない人が聞いていることを忘れないように処理しましょう。先の「ジドウシャノジ」の代わりに「ジブンノジ」とか「ジハミズカラ」などと補足すれば著者の使っている意味は伝わるでしょう。

さて、今回の例文は、カッコの処理が中心です。文章の流れなどを考えながら処理する必要があります。処理の案はありません。さまざまな処理があるかと思いますが、是非、意見をおよせください。次回に掲載します。

## 今月の練習問題

そしてすべての川は海へ 20世紀ユダヤ人の肖像

エリ・ヴィーゼル著 村上光彦訳


パリの知的、芸術的喧騒がわたしの心を占め、そしてわたしを刺激した。わたしがまだ形成期のまっただなかにいたからだ。探究し、探究をやめなかった。飽くことなき図書館利用者で、それまでこれほど多く読んだことはなかった。反動的右翼の著作は読まなかった。つまりモンテルラン、レオトー、シャルドンヌは、わたしには興味がなく、なにひとつわたしにもたらさなかった。それにひきかえ、マルロー、モーリヤック、ポール・ヴァレリー、ジョルジュ・ベルナノス、イニャツィオ・シローネ、マルタン・デュ・ガールの作品からは糧を得た。わたしはカミュの全作品（彼はなぜドイツの検閲に従ったのか、そして『シシュポスの神話』からカフカについての章を省くことに同意したのか）を、サルトルの全作品（彼は『出口なし』の上演を解放後まで待つわけにいかなかったのだろうか）を読んだ。彼らの絶交はわたしを金縛りにした。ポーヴォワール、ガブリエル・マルセル、メルロー＝ポンティ、デュアメルをわたしは発見した。そしてレーモン・アロンを。そしてアーサー・ケストラーを。そしてウィリアム・フォークナーを。セルバンテスと、ミゲル・デ・ウナムノを。そしてもちろんカフカを。わたしは彼らの問題とわたしの問題とを突き合わせた。人は宗教の埒外で聖人たりうるか。世俗的祭司職は存在するか。人間の責任はどこで終わり、<神>の責任はどこから始まるか。<神>がいなければ、実在はつまるところ不条理なのか。それに、<神>のない、それとも<神>の埒外にある実存なるものを考えることができるのか。問いなる<神>、答えなる<神>、どちらを選び、どちらに従うべきか。われ探究す、ゆえにわれあり。われあり、ゆえにわれ探究す。探究の意味を、実存の原初にして究極なる意味を、わたしは探究した。わたしは導かれる必要があった。しかしフランソワは捕まえられず、シュシャニも同様だった。わたしのために標注の、支柱の役をしてくれるのはだれだろうか。わたしは、苦行についての原稿を仕上げる決心をして取り出してみたが、疑念が湧いてきた。この主題はどんな点で緊急だろうか。永遠なるものが一時的なものに席を譲ることがある。よりよい価値がある

のはなんだろうか。ユダヤ神秘主義だろうか、ヒンドゥー神秘主義だろうか。より好ましいのはなんだろうか。行動だろうか、それとも瞑想だろうか。（『タルムード』のなかで、わがく賢者>たちは同じ問いを発した。彼らの答え。――研究のほうが価値が高い、なぜならそれは行動を誘い出すから。）

熱狂的で肥沃で、ためになる時期だったが、わたしの小説作品にとって必要不可欠だったかどうかはわからない。わたしは『幸運の町』のなかでこう語っている。

わたしはのちに一九五五年にジュネーヴでジヴォンと再会することとなる。首脳会談が開かれて、ソ連のジューコフおよびブルガーニン元帥（勲章をべたべた吊していた）、英首相アンソニー・イーデン（ほかの首脳たちよりも優雅だった）、仏首相エドガール・フォール（一団中、群を抜いて知的だった）、それにアイゼンハワー（この会議の父親とはいわぬまでも一種の名付け親だった）が集まったときのことだ。わたしの興味を引いたのはジューコフ元帥だった。彼はヒトラーを打ち負かし、ベルリンを征服した人ではないか。せめて彼に近づいて、ジヴォンが打ち明けたところでは二人は友人どうしたというが、その話はほんとうだろうか、と尋ねられたらよかったのに。

わたしがく老人>にした口利きが実を結んだ。彼はアモスにたいする拒否権を取り下げた。彼は新聞社内で出世することとなるが、もっとも署名記事は書かせてもらえなかった。彼の時評は相手を傷つければ傷つけるだけ独創性を発揮した。『イエディオト・アハロト』紙では、彼は中国料理、政治的（ほかの種類のもあったが）ポルノグラフィ、友人たち（彼を恐れている）の偉大さや敵ども（大勢いた）の馬鹿さ加減、指導者たちの野心、彼らにたいする評判者側の欲求不満などについて、人気のある記事を書くこととなった。



✕

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

二通りの読みかあって意味が異なるもの (48)

薄地	ウスジ 織地や金属などの薄い物 ハクジ (仏) 菩薩の階位の一。また、凡夫の境界の一。 不毛の土地	立派	タハ (派をたてることから) それぞれの拠って立つ立場、役目、各々の領分 リップ 一派をたてること、美しいこと、みごとなこと、すぐれていること
初会	ショエ (仏) 最初の説法の会座 ショカイ 初めての会合 初めての面会	小皺	コヅリ こまかい皺 コソメ 鳥帽子のしぼの小さいもの
金口	キングチ 巻煙草の吸い口を金紙で巻いたもの コク (仏) 黄金色の口の意 (キク) 転じて釈尊の説法	立木	タキ 地に生えている樹木 リュウク (法) 一筆の土地の中に生えている樹木の集団で立木法により所有者が登記したもの。土地とは別個独立の不動産

『言葉に關する問答集』文化庁編より

「早急」は「サッキュウ」か「ソウキュウ」か。  
 (答) 「サッキュウ」が標準的である。  
 新音訓表の「表の見方及び使い方」の八に、「他の字又は語と結び付く場合に音韻上の変化を起こす次のような類は、音訓欄又は備考欄に示したが、すべての例を尽くしているわけではない。」として、「納得(ナットク)」その他の例が挙げられている。歴史的仮名遣いでは、「ナフトク」であり、これが音韻上の変化を起こして「ナットク」となったと考えられる。同じような例として、  
 十銭      ジフセン → ジッセン

執権      シフケン → シッケン  
 などがある。  
 新音訓表でも「早」の音に「ソウ」、一次下げて「サツ」を掲げている。この一次下げで示した音訓は、「特別なものか又は用法のごく狭いもの」である。例欄に、「早速」「早急」が載せてある。「早速」は、だれしも「サツク」と読むであろう。同様に「早急」も「サッキュウ」と読むことが行われてきた。文字面から「ソウキュウ」と読むのがかなり広く行われているが、「サッキュウ」と読むのは根拠のあることなのである。国語の諸辞典を参照しても、



「さっきゅう」を本見出しとし、「そうきゅう」のところでは、「さっきゅうを見よ。」という形にしてあるものが多い。

ちなみに、NHKでは、「サッキュー」と発音することになっている。

「施行」は「シコウ」か「セコウ」か。

(答) 「シ」は漢音、「セ」は慣用音である。したがって、普通には、「シコウ」と読んで、主に公共機関の事業を行うことに使う場合が多い。ただ、法律方面で、「執行」と区別するため、「セコウ」と読む慣用もある。一方、工事を実際に行う「施工(シコウ)」を「セコウ」と読み、「施行(シコウ)」と区別する習慣もある。

NHKでは、

シコウ	施行
セコウ	施工(工事)

と区別している。

ちなみに、「せぎょう」と読めば、仏教の用語で功德のため、僧などのために物を施すことの意になる。

「情緒」は「ジョウショ」か「ジョウチョ」か。

(答) 「緒」は、漢音「ショ」、慣用音「チョ」である。従来「情緒」について「ジョウショ」ともいい、「ジョウチョ」ともいわれたが、昭和二十三年の「当用漢字音訓表」では、「緒」に「チョ」という音を掲げていなかった。そのため、「ジョウショ」だけが「情緒」と書かれることになっていた。むしろ、この読み方のほうが伝統的な読みなのである。しかし、世間一般には「ジョウチョ」が慣用的になっていたため、今回の音訓表では「チョ」も取り上げ、例欄に「情緒」が挙げてある。ただし、備考欄に「『ジョウショ』とも。」と書き加えられ、両方の読み方のあることも指摘されている。

NHKでは、「ジョーチョ」と発音することになっている。

「礼拝」は「ライハイ」か「レイハイ」か。

(答) 「ライ」は呉音で、「レイ」は漢音である。新音訓表では、「ライ」は一字下げ扱いである。例欄に「礼賛、礼拝」が挙げられ、注に「『レイハイ』とも。」とある。

一般に、「ライハイ」は、仏教で用いられ、「レイハイ」は、キリスト教で用いられている。

「ライ」のつく語は余りない。「レイ」のつく語は、「礼儀、礼遇、礼式、礼節、礼装、礼拝曲、礼拝堂、礼服、礼法」など、多い。

「大地震」は「おおジン」か「ダイジン」か。

(答) 音読み語(漢語)の上に、「大」がついた場合は、おおかた「ダイ」と読む。

大家族	大規模	大自然
大車輪	大人物	大多数
大部分	大本山	大地震

次の例は、音読みの語の上についているが、普通「おお」と読むことになっている。

大げさ(袈裟)	大げんか(喧嘩)
大御所	大火灾
大時代	大騒動
大入道	大道具
	大所帯
	大ぶろしき(風呂敷)
大掃除	

以上の例から見て、「大」を「ダイ」と読むか、「おお」と読むかについては、規則性があるとは思われず、多分に慣習的である。問題の「大地震」については、「ダイジン」という言い方もあり、「おおジン」という言い方もあり、いわゆる「ゆれている語」である。「おおジン」のつもりで「大地震」と書く人もあり、「ダイジン」のつもりで「大地震」と書く人もある。

NHKでは、「大地震」と書けば、「おおジン」と読むこととしている。

## マイクの電池切れによる問題

最近、試聴するテープのトラブルにマイクの電池切れがよくあります。図書館などで共同で使用しているマイクが乾電池を使用するマイク（エレクトレットコンデンサーマイクロホン）であるの知らずに使っていたり、電池が消耗しているのを本人が気がつかずに録音しているようです。

マイクには、電池を使用するものと電池のいらぬマイク（ダイナミックマイクロホン）とがありますが、電池式は感度がよいので結構使用している人も多いようです。しかし、その分トラブルも増えています。そのほとんどの原因は電池の消耗によるものです。

電池の消耗による症状は、

- ①録音レベルが下がる
- ②極端に録音レベルが下がる（電池がほとんどなくなる）
- ③チリチリといった雑音が入る
- ④ジーといった雑音が入る（電池がほとんどなくなる）

電池の種類や、使用するマイクにもよりますが、電池の寿命は意外と早いものです。レベルメーターがいつものように振れないような時は電池の換え時です。早めに交換する方が無難です。当センターで一部使用しているこの種のマイクは、3～4ヶ月で録音レベルが下がるので電池を交換しています。交換する時には、日付を書いた紙をマイクに貼り付けておくと便利です。

また、新たにマイクを購入する場合、できるだけ電池式ではない方を選択した方が電池切れの心配をする必要がありませんので、のちのち便利です。最近、当センターで実験してみましたが、ダイナミックマイクの場合、定価6000円前後のものであれば感度は十分です。しかし、定価が、3～4000円程度のもものは感度が極端に落ちました。実売で5000円程度のものであれば家庭録音用には十分といえます。また、逆に数万円するものもありますが、「音声」を録音するのに高価なものは必要ありません。高価だから感度がよいというものではありません。

マイクのついでに、ヘッドホンのことにもふれておきます。カセットデッキの場合、本体だけではスピーカーがないため録音したものを聞くことができません。後追い録音をするためにヘッドホン（イヤホン）が必要です。最近はボリューム調節付きのイヤホンも1000円～2000円前後で購入できますので、そうしたものを購入すると便利でしょう。イヤホンを購入される場合は、さらにプラグアダプターが必要です。

（図参照）イヤホンはミニプラグかステレオミニプラグですので、ステレオ標準プラグに変換します。購入する場合、イヤホンがミニプラグの場合は、プラグアダプター

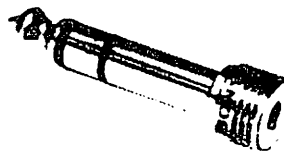
の受ける側がミニジャックを、イヤホンがステレオミニジャックの場合は、受ける側もステレオミニジャックのプラグアダプターを購入します。これはマイクでプラグアダプターを使用する時も同じです。プラグアダプターが合っていないと雑音を発生させる原因にもなります。プラグアダプターは400円～500円前後で購入できます。TCRX1000Tのマイクのプラグアダプターは標準プラグ（モノラル）になります。

☒ SONYのカタログより

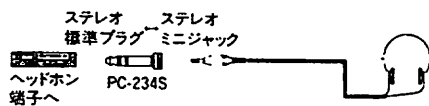
プラグアダプター  
PC-234S

標準価格600円(税別)

メタルボディ



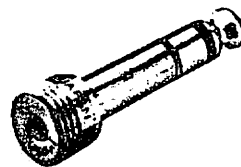
- ステレオ標準プラグ⇄ステレオミニジャック
- ステレオミニプラグをステレオ標準プラグに変換するとき
- ステレオアンプなどのヘッドホン端子にステレオミニプラグつきのヘッドホンをつなぐ時に便利。  
※L型のPC-L47Sもあります。



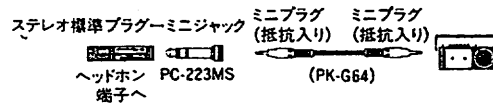
プラグアダプター  
PC-223MS

標準価格550円(税別)

メタルボディ



- ステレオ標準プラグ⇄ミニジャック
- ミニプラグをステレオ標準プラグに変換するとき使用
- ステレオヘッドホンジャックにイヤホンをつなぐときに便利



## 資料紹介

『ボランティア活動のために』（シリーズ第7集）

『録音図書校正の手引き』 北川和彦 編著 120頁 定価980円

元国立国会図書館視覚障害者図書館協力室室長の北川氏がシリーズ第7集の『録音図書の校正の手引き』を発行されました。校正者に限らず音訳者にも役立つ内容です。主な内容は、校正の位置づけ、校正者に求められる資質、校正の準備、校正の方法、構成面のチェックポイント、録音技術面のチェックポイント、音訳面のチェックポイント、等など。

## 利用者から製作依頼を受けている原本

以下のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。

書名 <分類>	引き受けて頂いたチーム
『気で治る木 日本の[気の医療]最前線』<医学> 『チャイナマン』田中昌太郎 著 <小説> 『中国の歴史と故事』<歴史> 『ヨセフとその兄弟 II』 <宗教> 『ヨセフとその兄弟 III』 <宗教>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     ≪≪≪≪≫≫≫≫ ≪≪≪≪≫≫≫≫                 </div>	
『ナショナル全自動洗濯機取扱説明書』 『ヨセフとその兄弟 I』 <宗教>	えくてもあ ICCB

### お知らせ

#### 『ろくおん通信』の更新について

グループの方で97年度の『ろくおん通信』の更新連絡がない方は、再度申込用紙を同封しています。97年度も引き続き希望される場合、申込用紙に記入の上録音製作係宛お送り下さい。3月末日までにお申し込みのない場合は、4月からの発送はしませんので悪しからずご了承ください。

550 大阪市西区江戸堀1-13-2  
盲人情報文化センター 録音製作係  
でんわ 06-441-0015